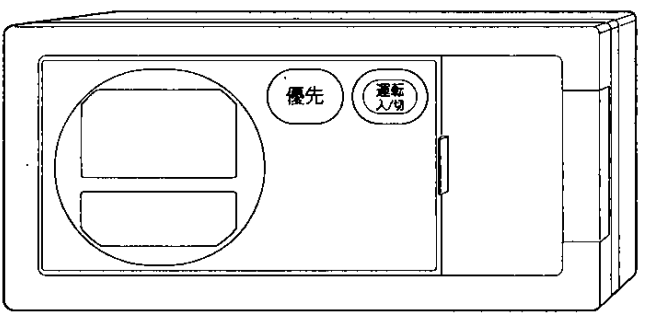
ガス給湯器用別売品

シャワーリモコン

品番 38−588型

取扱説明書（工事説明書別添）



工事説明書別添 保証書別添

この説明書と別添の「工事説明書」「保証書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。「保証書」は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

もくじ　　ページ

特に注意していただきたいこと……1
各部のなまえ……2
使いかた……3
点検とお手入れ……7
アフターサービス……8

大阪ガス

特に注意していただきたいこと

使用器具についてのご注意

■ **適用機種の確認について**

- 機種によっては使えないものがありますので、ガス給湯器の取扱説明書の「仕様」の項で確認してください。

設置について(詳しくは工事説明書をお読みください。)

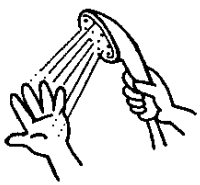
■ **設置は**

- 浴室への設置ができます。(防湿構造)
- 設置はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
- 正しく設置されているか確認してください。

使用上のご注意

■ **シャワー使用時は**

まず手で温度を確かめてから！

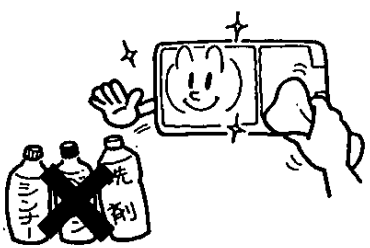


■ **ケースふたは絶対にはずさない**

防湿性がなくなり、故障の原因となります。

■ **むやみに水・洗剤液などをかけない**

パッキンなどの寿命を短くします。



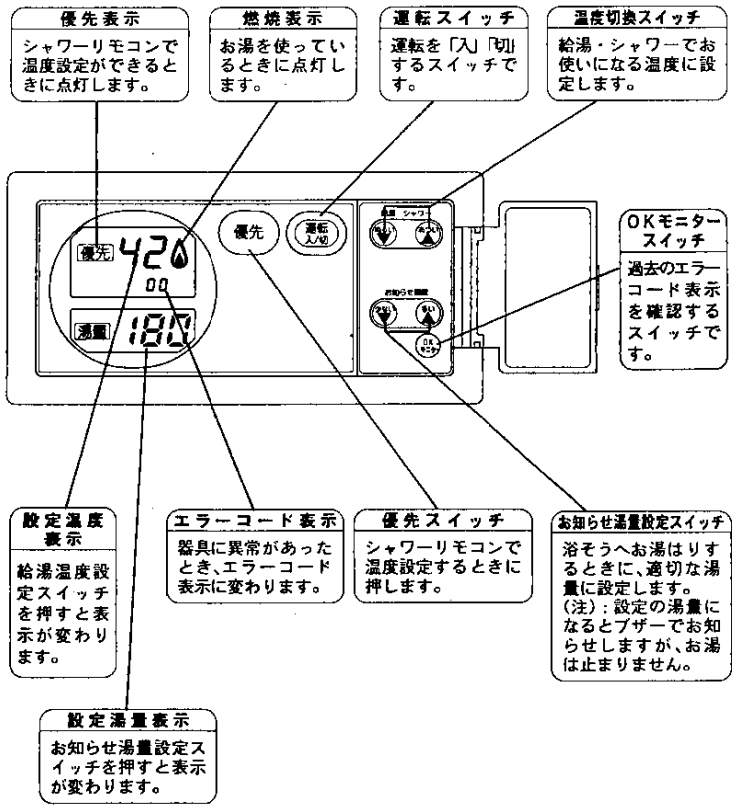
■ **おかしいな！と思ったら**

使用をやめ、お買い上げの販売店または
もよりの大阪ガス支社へ連絡してください。

■ **長時間使用されないとき**

必ずリモコンの運転スイッチを「切」にし、
ガス元栓を閉めてください。

各部のなまえ



使いかた

準備

ガス給湯器が使用できる状態になっていることを確認。
（ガス給湯器の取扱説明書「初めてお使いいただくときに」参照。）

給湯・シャワーのしかた

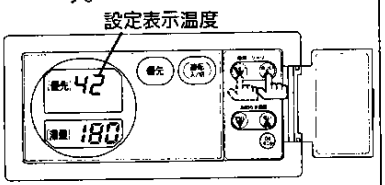
1 運転スイッチを押す

●優先表示と設定温度表示が点灯します。

設定温度表示は
前回設定の温度を表示します。
前回設定の温度が 75 の場合
安全のため 42 を表示します。

2 温度を調節する

●数字は目安の温度を表示しています。



優先表示の点灯を確認し温度を設定する
優先表示が点灯していない場合、優先スイッチを押します。

温度切換は
約38～約47℃の間及び約60℃、約75℃で調節できます。
温度設定スイッチを押し続けると
温度表示は連続的に変化します。
60 から 75 へはスイッチを押し直してください。
温度設定が「75」の場合
ブザーでお知らせします。

点　火

3 給湯栓を開ける

●燃焼表示が点灯しお湯が出る。

エラーコード 11 または 12 を表示している場合
一度給湯栓を閉め、しばらく待った後、開栓してください。

消　火

4 給湯栓を閉める

●バーナが消火し、燃焼表示が消える。

燃焼用送風機は、バーナ消火後約５分で停止します。

ご注意

●優先スイッチを「入」から「切」にした場合
メインリモコンで温度設定できます。
●給湯使用中に、シャワーリモコンの優先を「切」にした場合
設定温度表示は給湯使用が終わるまで変わりません。
給湯使用が終わるとメインリモコンで前回使用時に設定した温度を表示します。
●エラーコードを表示について
この器具には、不具合が生じたときにその原因をエラーコードで知らせる機能があります。ＯＫモニタスイッチを約２秒以上押すと、画面表示部に過去のエラーコードを呼び出せます。エラーコードを表示した場合は、下表のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。

表示	原　　因	処　置　方　法
00	給湯を連続90分以上運転したためです。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
11	点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
12	失火エラーが生じたためです。	
■ 上記以外の表示がでる場合は、運転スイッチを「切」にして再操作してください。		

再操作しても同じ表示がでる場合は、電源プラグを抜かないでお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社へ連絡してください。

お知らせ湯量設定スイッチの操作のしかた

■ ふろ(浴そう)へお湯はりするときに、お知らせ湯量設定スイッチで設定した湯量になるとブザーでお知らせします。

■ ブザーが鳴ってもお湯はりは止まりません。

■ お湯はり量は約10ℓ、100ℓ～360ℓまでは約20ℓきざみ、及び約500ℓに設定できます。

●浴そうの排水栓を閉じてください。

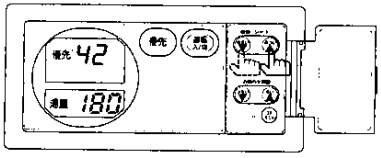
1 運転スイッチを押す

●優先表示と設定温度表示が点灯します。

給湯温度は
前回設定の温度を表示します。
前回設定の温度が 75 の場合
安全のため 42 を表示します。

2 温度を調節する

●数字は目安の温度を表示しています。

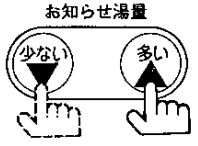


優先表示の点灯を確認し温度を設定する
優先表示が点灯していない場合、優先スイッチを押します。

温度設定スイッチを押し続けた場合
温度表示は連続的に変化します。
60 から 75 へはスイッチを押しなおしてください。
設定温度が「75」の場合、ブザーでお知らせします。

3 お知らせ湯量設定スイッチで湯量を設定する

●数字は目安の湯量を表示しています。



点　火

3 給湯栓を開ける

●「💧」が表示し、お湯が出る。

消　火

■ 設定の湯量になるとブザーが5回鳴りますので給湯栓を閉めてください。

4 給湯栓を閉める

●バーナが消火し、「💧」が消える。

ご注意

●お湯はり中に他の給湯栓を開けますと、他の給湯栓の使用量だけ浴そうの湯量が少なくなります。

●お湯はり中に給湯栓をいったん閉めて、再度開けるとあらたに設定量の湯がお湯はりされますので、ブザーでお知らせする前に、浴そうからあふれることがあります。

●入浴されるときには、必ず浴そうの湯温を確かめてください。

●ふろ(浴そう)へのお湯はり以外でも、給湯・シャワーを連続して長時間使用するとブザーが鳴ります。ブザーが鳴ってもそのまま使用することができます。

●ブザーでのお知らせが不要な場合は、お知らせ湯量設定スイッチを「500」に設定してください。この場合も使用量が約500ℓになるとブザーは鳴ります。

●停電後の再通電時や、電源「入」「切」後は、お知らせ湯量の設定は約180ℓになります。

点検とお手入れ

点検の方法

■ スイッチ操作は軽く行えますか？

■ 運転スイッチを押すと、設定温度表示が点灯しますか？

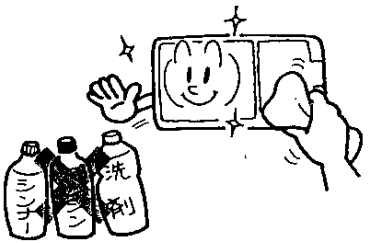
■ 優先スイッチを押すと、優先表示が点灯しますか？

■ 温度切換スイッチを押すと、設定温度表示が切り替わりますか？

お手入れの方法

■ リモコンが汚れたときは？

水をつけた布をかたく絞り、軽くふき取る。
（内部は、電気部品が入っているので絶対にぬらさない。）



故障かな？

ご使用中にふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、直ちに使用を中止し、十分な点検をしてください。

現　象	調べるところ	処　置
運転スイッチを押しても設定温度表示が点灯しない	●器具本体の電源が入っていますか。	●器具本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	●停電していませんか。	●再通電するまで待ってください。

もし、異常を見つけたらお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社まで連絡してください。

アフターサービス

(1)修理を依頼されるとき

7ページの「故障かな？」に従ってお調べになり、直らないときは、必ずガス元栓・給水元栓を閉めて、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社までご連絡ください。

(2)アフターサービス等についてわからないとき

お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社にお問い合せください。